

あすかい

いわき市立上遠野小学校

平成29年11月6日(月) No.13

校長 林 弘美

重点目標 基本的な学習習慣を身につけ、生き生きと目標に向かって努力する子どもの育成

がんばった学習発表会

10月28日は心配された台風の影響を受けず、お天気にも恵まれ、子供達が一生懸命練習を重ねてきた学習発表会を行うことができました。

今年度、わたしは初めて上遠野小学校の学習発表会を経験しましたが、驚いたことが3つあります。

まず1つめは、早朝6時から体育館の場所を取るために並ぶ家族の方々がいるということです。10月も末になると、早朝は冷えます。その中、体育館入り口に並んでいる方々を見ると、上遠野小の子供達の活躍への期待、この学習発表会に寄せられている期待をひしひしと感じました。寒い中ご苦労様でした。ありがとうございました。

2つめは、上遠野小学校の保護者や地域の方々の鑑賞する様子が素晴らしかったことです。演技や演奏の間は、誰ひとりとしておしゃべりする人がなく、人が出入りすることもなく、集中して子供達の発表を見ていただきました。演技が終わって次の演目までの間も、うるさくなったり、小さい子が走り回ったりしがちですが、そのようなことは全くなく、このようにマナーの整った地域は珍しいと思います。

3つめは、上遠野小の子供達のがんばりです。23日の予行の時の発表から2段階3段階どころか10段階ぐらいレベルアップし、上手で精選された素晴らしい発表になりました。やはり上遠野小の子供達は、やればできる子、力のある子ばかりです。先生方も、指導の集大成である発表を見て子供達の力に感動していました。

今年度は、小学生のいない家庭の方々にも来ていただけるよう、地域に学習発表会の案内を出しました。また、コンクールで特選となった作文の発表も行いました。連絡帳などを通して、ぜひ担任や学校に感想やご意見をいただきますよう、お願いいたします。



放射線教育

東日本大震災、原発事故から6年7ヶ月がたとうとしています。上野の地域は、原発事故の被害は甚大であったとはいえませんが、福島県は原発事故後、放射線教育に力を入れ、日本全国の学校でも行われています。

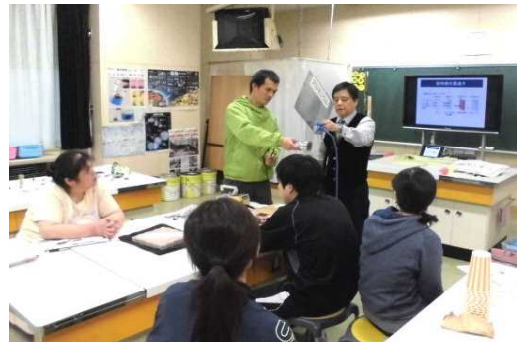
福島県の放射線教育の目標は、

放射線等の基礎的な性質についての理解を深め、心身ともに健康で安全な生活を送るために、自ら考え、判断し、行動する力を育てる。



となっています。しかし、この放射線教育は、福島県だけでなく、全国で力を入れて行われるべきものだと私は考えています。日本中の人々が放射線を正しく知ること、福島に対する風評被害や、福島の子供や人々に対するいじめや偏見をなくすためです。そして特に福島の子供達には、正しい知識を持ち、どこに行っても自分やふるさとに自信を持って正確に発信できる力、生きぬく力をつけてほしいと思っています。

10月31日には、明星大学特任教授 石川哲夫先生をお迎えして6年生の放射線教育の授業を行い、その後、先生方を対象に放射線教育教員研修会を本校で行いました。



ふくしま教育週間 学校公開

ご来校ありがとうございます。学校での子供達の様子をご覧になっての感想です。

1年生の50m走とボール投げ、普段の孫の生活ぶりを見させてもらいました。先生の話聞き、頑張っていました。

3年生の虫めがねの太陽での黒い紙から煙が出たときの子供達の喜びを見させてもらいました。来てよかったと思いました。

各学年とも活発に発表していることに驚きました。先生方も大変だろうなと思いましたが、子供達の長所を伸ばす教育を続けていただくようお願いいたします。



教育週間でなくても、授業や子供の学校での様子を参観したいときは、いつでもどうぞ。担任に一言ご連絡いただくと、より助かります。

お願い 2回目

持久走記録会の練習が始まりました。校庭に車のタイヤ痕を残さないため、帰りのお迎えの際、校庭に車を止める時には、なるべくフェンスよりに止め、なるべくフェンスよりを通過して校庭から出てください。

できればおじいさん、おばあさんにもそのようにお伝えください。よろしく願いいたします。

